



共同編集
 自治労全道庁労連
 本部政策情報室
 札幌総支部教宣部
 札幌市中央区北3西6
 (TEL) 231-4143
 内線 33-611

No. 2130
 2013年9月13日

小出裕章講演会
 「私たちの未来と原発」
 ◎9月14日(土)18時30分から
 ◎札幌市民ホール
 ◎主催 医療九条の会 北海道

2013賃金確定闘争 — 一道人事委員会勧告期のたたかい — 給与独自削減の「停止勧告」を行うよう要求 — 「早期に本来あるべき適正な給与水準の確保が必要」との回答に止まる —

各課題 具体的な回答は示されず

地公三者共闘は9月12日、今年の賃金確定闘争に向けて、第1回目となる道人事委員会交渉を実施した。道独自の賃金削減が15年にわたり、7月から新たに国に準じた削減が上乘せされるなか、「月例給、一時金ともに改定なし」とする人事院報告が出されるなど、かつてない厳しい情勢となっている。今回の交渉では、「分析、検討を行っている段階」として、各課題を含め具体的な回答は示されなかったが、10月上旬にも想定されている勧告に向けて交渉などを中心に取り組みを強化していく。

人事委員会の機能を果たせ

地公三者は、「人事委員会はこれまで、早期に本来あるべき適正な給与水準を確保するよう要請するなどとしていたが、道当局は、こうした要請を一切無視し、さらに7月から国に準じた給与削減を実施している」として、「報告」ではなく強制力のある「停止勧告」を行うよう強く求めた。しかし、人事委当局が明確な回答を示さなかったことから、あらためて労働基本権制約の代償措置である給与勧告を行う機関としての機能を果たすよう求めた。

号俸増設と若年層の水準引き上げ

最高号俸の状況について調査結果を求めたところ、一般行政職5級などで昨年より増加しているとともに、5級の号俸を増設している県は13府県にのぼっていることを明らかにし



▲再任用制度の拡充を訴える札幌総支部組合員
 =9月12日、道庁別館

た。このことから、今年の勧告で号俸増設を実現するよう強く求めた。さらに、民間よりも低くなっている若年層の給与水準について、人材確保の面からも給与等の引上げを行うよう求めた。

再任用制度の拡充を図れ

今年度の退職者から無年金の期間が発生することもあり制度の拡充を求めているが、道当局から各種手当など未だに制度設計の内容が明らかにされていない。人事委員会としての検討状況を求めたが、国や任命権者による検討動向を踏まえて対応したいとの不十分な回答に止まった。

地公三者は、職場発言を行うなかで、住居手当や扶養手当をはじめ寒冷地手当や単身赴任手当などの北海道の特殊事情・実態に即した独自の対応が必要であるとして、「報告」に止まらず「勧告」のなかに盛り込むよう求めた。

通勤手当、単身赴任手当の見直し

交通用具使用者の通勤手当が改正された1997年のガソリン価格は105円であり、近年の価格高騰を踏まえ適正額に改正するよう求めたほか、両立支援や北海道の広域性からも単身赴任手当の増額について検討するよう求めた。今後、人事委員会交渉、副知事交渉を積み重ねながら確定闘争での要求実現を図っていく。

**札幌総支部
組織集會**

9/4 Hライフオート 全体で38名参加

**「組織強化に特効薬はない」
「日頃の世話役活動が重要」**

札幌総支部組織集會をHライフオートで、38人が参加し開催しました。

冒頭、上杉本部組織部長より「組織強化について」と題し、組織強化に特効薬はなく、職場要求運動の積み重ねや、仲間との対話を大切に小さなシグナルを見逃さない日頃の世話役活動が重要。人は組織にとって財産であり、若者は組織に新しい風を入れる宝物。組織を上げて次の運動の担い手づくりに全力で取り組もうとの基調提起がありました。

その後、4班に分かれて分散会討論を実施、本音をぶつけた熱い議論を行いました。

前段、賃金課題として、6月を山場としてたかかった『国に準じた新たな給与削減反対のたたかい』の取り組みや妥結結果に対する意見交換を行い、今後シツカリと総括し、引き続き闘争に活かしていくことを確認しました。また、組織課題として、総支部・支部運動の強化に向けて、それぞれ支部が抱える課題、支部運営上の悩みや次の担い手をどのように育てて行くか、また、そのためには何が必要かなど、率直に意見を出し合いながら討論を深めました。



▲4班に分かれ分散会討論を実施。職場のつけ合せを行なった。9月4日、Hライフオート



最後は、齋藤書記長が「すぐに結果は現れないが何もしなければ結果はゼロ、地道な活動の継続が実を結びと信じて取り組んで行こう」と集約し、集會を終えました。

札幌総支部秋季野球大会(8月31日)

農政部・札幌支部が優勝!

(白球を追い交流を深めた参加8チームの皆さん、お疲れさまでした。来期も各支部の積極的な参加をお願いします。)



▲決勝第1試合。小技を絡め終盤得点を重ねた札幌が子どもCに逆転勝利。9月7日、道職員グラウンド。

春の大会に続き、8チームが参加し熱戦が繰り広げられた札幌総支部秋季野球大会。結果は下記のとおり、農政部と札幌建設管理部が優勝し、今期のすべての日程が終了しました。来期の春大会は6月中旬・下旬を予定していますので、各支部・労組の皆さんの積極的な参加をお願いします。また、春大会で優勝した総務部・教育庁チームの石狩地本大会(6月石狩市開催)での活躍を期待します。

